

# 迎春



登米市議会議長  
田口 政 信



登米市長  
布施 孝 尚

## 再生に向けて 心を繋ぎ明日へと踏み出す

新たな年の幕開けを、皆さまには健やかに  
お迎えのことと思います。

昨年3月11日発災の東日本大震災では、市  
内において震度6強を観測し、家屋の倒壊や  
道路の陥没、一週間に及ぶライフラインの  
寸断という未曾有の災害に見舞われました。  
犠牲となられました皆さまに哀悼の意をさ  
さげ、ご遺族の皆さまにお悔やみを申し上げ  
ますとともに、被災者の皆さまにお見舞いを  
申し上げます。

また、震災対応にあたり、市民の皆さまを  
はじめ市内外の関係機関や団体、企業など、  
多くの皆さまにご支援とご協力をいただき  
おりますことに深く感謝を申し上げます。  
本市では、震災復興計画の着実な実施によ  
り、一日も早い市民生活の再建を目指し、誰  
もが住んでよかつたと思えるような「安全・  
安心なまちづくり」に取り組んでまいります。  
さて、わが国の経済は、緩やかではあるが  
持ち直してきているとの見方もあるものの、  
地域における実感はなく、依然として続くデ  
フレや円高、高い失業率、先の見えない雇用  
不安など厳しさを増しております。

昨年の11月には、日本政府としてTPP  
(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加に向  
けて関係国との協議に入ることを首相が言明  
いたしました。各種産業の振興が損なわれ  
ないよう、国は万全の配慮と、国民的な合意  
を得た上での、慎重な対応が必要であると思  
えるところであります。

## 改革元年 市民に開かれ 共に歩む議会を目指して

市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎え  
のことと思います。

北上山地から昇る初日は、北上川の水面に  
何を照らし、登米耕土や伊豆沼、長沼、迫川  
に何を投影するのでしょうか。今年の初日の  
出の輝きは、一人一人の願いや格別の思いを  
映し出す光だと思えます。

わたしたちは、昨年の3月11日、東日本大  
震災という未曾有の経験をいたしました。三  
陸沿岸地域の津波や福島第一原発の事故によ  
る放射能被害、本市でも家屋の倒壊を始め、  
学校・道路・下水道など公共施設にも甚大な  
被害を受け、現在、急ピッチで復旧、復興に  
取り組んでおります。

震災の影響は農業にも及び、田植え時期の  
遅れにもかかわらず、作況指数一〇一の平年  
作となりましたが、放射能汚染稲わらの処理  
問題が浮上し、畜産農家に大きな打撃を受け  
ているところであります。

国内の経済は、円高が進行し、輸出企業に  
とって大打撃となっております。そんな中で、  
政府は、TPP（環太平洋戦略的経済連携協  
定）への参加を表明し、国内産業を二分する  
議論が行われており、特に農業分野への影響  
が心配されるところであります。

国内の政治は、政権交代後3人目の首相が  
誕生し、政治の安定と復興のスピードが高ま  
るものと期待をいたしました。衆参ねじれ  
国会は、デフレ、円高脱却や財源確保、生活

このような中、本市の持続的発展を目指し、  
「働く基盤づくり」、「安心して暮らせる地域  
づくり」、「自立への取り組み」の3つの柱を  
基本とし市政運営を進めており、「働く基盤づ  
くり」という点におきましては、一昨年の自  
動車関連企業3社の進出に続き、昨年は大手  
コールセンターが立地し、本年より本格的な  
事業開始を迎えるなど、本市の元気に繋がる  
ものと大いに期待しているところであります。  
本市においては、住民自治の実現と協働に  
よるまちづくりを推進する登米市まちづくり  
基本条例の策定、老人福祉の拠点としての地  
域密着型介護施設の整備、市立病院改革プ  
ランのさらなる推進、放射性物質を含む稲わら  
や土壌の処理、東日本大震災対応への検証と  
原子力防災重点地域の拡大に伴う地域防災  
計画の見直しなど、多くの課題がありますが、  
市民の皆さまの健康で安全な生活を第一に着  
実に取り組んでまいります。

このたびの大震災は、わたしたちの心に深  
い傷跡を残しましたが、本市の復興を遂げる  
ためには、施設面における再構築とともに、  
心の再生に取り組むことも重要な一つである  
と考え、「夢・大地 みんなが愛する水の里」  
の実現に、市民の皆さまと心を繋ぎ取り組ん  
でまいりますので、昨年に引き続き皆さまの  
ご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多  
き年となりますことをご祈念申し上げ、年頭  
のごあいさつといたします。

関連の施策の論議をせずに不毛の論戦が続い  
ています。復旧、復興対策最優先の国政運営  
を期待するところであります。

登米市誕生から7年が経過し、企業誘致推  
進の結果、長沼工業団地に誘致された3社と  
コールセンターが操業を開始し、新たに水産  
物加工場の誘致も決定したところであり、将  
来に向け若い人の雇用状況が改善されること  
を期待するところであります。

また、みやぎ東北高速幹線道路が1期工事  
分の迫町北方まで開通し、登米インターから  
の2期工事も復興道路として着手されること  
となっております。

議会では、自らの改革を進めるため、「議会  
改革調査特別委員会」での2年6カ月間の論  
議を経て、「議会基本条例」を制定いたしまし  
た。市民と身近に意見交換会や懇談会、政策  
論議のできる議会を目指すものです。

また「東日本大震災調査特別委員会」を設  
置し、調査活動の結果を踏まえ、復興計画に  
も反映させていただきました。一日も早い復  
旧、復興を願うものであります。

議会は改革元年であります。市民に開かれ  
た、市民とともに歩む新しい議会を目指し、  
一丸となって努力をしてまいります。

結びに、市民皆さまのご多幸を祈念する  
とともに、本市議会へのお一層のご指導ご鞭  
撻をお願い申し上げます。年頭のごあいさつと  
いたします。